

札幌学院大学バリアフリー委員会 バリアフリー通信

第6号



♪手話復習会♪

10月31日(月)12時30分から、復習会が行われました。今回は先週行われた手話勉強会の復習でした。勉強会の内容は、入退院についての会話文の練習でした。みなさん手話で単語の復習や会話をするごとに、一生懸命に取り組んでおり、先週の記憶を取り戻しているようでした。

(文責 佐藤里紗)



♡ | Love BF ♡



今回の「I Love バリアフリー委員会」は、初めて車いす介助を経験した人を代表して宇都莉奈さん(人文学部1年)、坂本直さん(人文学部1年)の2名に集まっていただき、お話を伺いました。

石井：じゃあ、インタビューを始めたいと思います。まず2人に聞きたいのがなぜ介助をしているのかということできっかけを教えてください。

坂本：介助部に最初に入ったからかな？

石井：要はバリアフリー委員会に入ったから介助をやっているからで、元々は介助に興味はあったんですか？

宇都：入学前からはあった。

石井：意識が高いですね。

宇都：綺麗ごとですよ。

石井：現在、週にどれくらい登下校・移動介助していますか？

宇都：私1回かな～。

坂本：私2～3回かな。

石井：あの、臨床にフナクボくんが身近にいたからやろうと思った？

宇都：身近にいたからちょっと入りやすいと言うのがあった。

石井：車椅子学生を介助していて、互いに相談をし合うことはありますか？

宇都：共通点がバリアフリー委員会だから、それについて話すこともある。

石井：介助していて嬉しいことや得たことは？

坂本：介助していてエレベーターのボタンを押してくれる人とかドアを開けてくれる人がいたら嬉しいと思う。

宇都：私も同じです。

石井：これから先車椅子学生の介助をやる人に向けて一言。

坂本：冬は大変なのでたくさんの人手が必要です。

宇都：楽しいことも沢山あるし、自分に得るものも沢山あると思うので、もし興味がある人がいたらぜひすぐに瀧口さんまで行って欲しいです。



石井：ということで僕からも介助を手伝ってくれる人が増えることを祈っております。ということで、宇都さん、坂本さんのインタビューでした。ありがとうございました。

宇都・坂本：ありがとうございました。



取材：石井建雄
記録：飯塚大輔
撮影：平大樹



☆編集後記☆

山口順也：推敲と編集楽しかったです。またやりたいです。

酒井紫織：お疲れ様でした(◎▽◎)

柄澤睦美：推敲と編集に初めて参加しました。楽しかったです。お疲れ様でした。

佐藤里紗：お疲れ様です。むっちちゃんに300円必ず返します。

太田康文：今回で2回目…推敲、写真楽しいね!!…卒論ヤバいっす、誰か助けて!!

石井建雄：眠いです。眠いです。眠いです。

藤田和真：お疲れ様です・むっちちゃんに100円必ず返します。

大川真奈：オセロぼろ勝ち！挑戦者求む！今回もみなさんお疲れ様でしたー！

平 大樹：↑の方は幻覚が見えていたようです。

阿部直也：新部員も仕事に慣れてきたようです♪みなさん、風邪には気をつけましょう!!

清水愛理：色々楽しかったで一す!!また、広報部の推敲・編集行きたいです!!

坂本 直：インタビューありがとうございました！楽しかったです♪